

実は、機械式スーパーコピー時計でもクォーツ時計でも、長時間つけたまま放置していると精度が狂ってしまいます。機械式時計に誤差はつきもので、ロレックスのような最も精度の高い機械式時計でも、1日でプラス6 マイナス4秒の誤差があるとされています。



今日は、いくつかの一般的な障害分析をまとめます。

### テンプの振りの影響

テン輪は英語で **Balance Wheel** と呼ばれ、前後に揺れるという意味です。時計内部のテン輪とは、前後にスイングするピボットアームを備えた歯車と、内部に渦巻き状のヒゲゼンマイを備えた機械部品の名前です。テン輪、ヒゲゼンマイなどは一緒になってムーブメントの调速機を構成し、時計の稼働時間に決定的な影響を与えます。

テンプに接続されたヒゲゼンマイがテンプを前後に駆動し、時間を同じ等分に分割します。スイング測定は、機械式時計の状態検出の基本項目です。典型的なテン輪は 270 度から 315 度の間で揺れます。よく話題になる時計の振動数とは、テンプが揺れる回数のことです。例えば振動数が 28,800 回の場合、テンプは 1 時間で 28,800 回前後に揺れることになります。テン輪の振れ。これは、歯車がどれだけ振れるかを表します。

### ヒゲゼンマイの効果

ほとんどの機械式時計には、ひげぜんまいが取り付けられており、その機能は移動時間の精度の修正を容易にすることですが、ひげぜんまいとひげぜんまいの間に隙間があることから、「コマの揺れ」とも呼ばれます。機械式時計 機械式時計の等時性もまた、機械式時計の位置誤差を増大させます。

### 衝撃・振動の影響

激しい衝撃や振動はテンプの振動周期にも影響を与え、特に低振りや低振動数の機械式時計では、テンプのほぞやヒゲゼンマイに損傷を与えるほどの激しい衝撃や振動は、必然的

に機械的な振動を引き起こします。移動時間の失敗。

### 磁場の影響

機械式ムーブメントの多くの部品はスチールで作られているため、磁力の弱いニッケルベースのヒゲゼンマイを含め、簡単に磁化されます。機械式時計が外部磁場の作用下にある場合、または部品が磁化されている場合、テンプの振れ周期は非常に大きく、磁力の干渉により機械式時計は通常より速く進みます。



### 温度変化の影響

温度の変化は、テン輪とヒゲゼンマイの幾何学的寸法も変化させ、これらの重要なコンポーネントのわずかな変化が振動周期に直接影響し、温度によって時計オイルの粘度も変化し、機械式時計のギアが変化します。トルク伝達と振動が変化します。

### 不十分なパワーリザーブ

まず動力が十分か確認する必要があります。自動巻き時計のムーブメントが非常に小さい場合は、パワーリザーブが不足している可能性があります。手巻きで動力を補い、速度または遅さが続くかどうかを観察できます.. <http://www.trustmall-noob.com/hotwebnews.asp>